

平成 28 年 5 月 2 日

各 位

会 社 名 日本ハム株式会社
代表者名 代表取締役社長 末 澤 壽 一
(コード番号 2282 東証第一部)
問合せ先 執行役員 コーポレート本部
広報 I R 部長 片 岡 雅 史
(TEL 06-7525-3031)

のれん等の減損損失（連結決算）及び連結子会社株式の減損処理
による特別損失（個別決算）の計上に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期決算において、のれん等の減損損失（連結決算）及び当社が保有する連結子会社株式の減損処理による特別損失（個別決算）を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. のれん等の減損損失（連結決算）

当社が平成 27 年 4 月に子会社化したトルコ共和国の養鶏事業会社 Ege-Tav Ege Tarım Hayvancılık Yatırım Ticaret ve Sanayi Anonim Şirketi 社（以下、Ege-Tav 社）の業績が、トルコ国内における鳥インフルエンザの発生や地政学リスクの高まりなど、外部環境の悪化を主因として、当初策定した計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行いました。これに伴い、Ege-Tav 社の株式取得時に発生したのれん等の回収可能価額を検討した結果、のれん等の減損損失として 9,579 百万円を「その他の営業費用及び（△収益）－純額」に計上することとなりました。

なお、のれん等の減損損失には非支配持分に帰属する金額が含まれているため、「当社株主に帰属する当期純利益」に与える損失の影響額は 6,125 百万円と見込んでおります。

2. 連結子会社株式の減損処理による特別損失（個別決算）

上述の背景を踏まえ、当社が保有する Ege-Tav 社の株式について回収可能価額を検討した結果、関係会社株式評価損として 7,571 百万円を特別損失に計上することとなりました。

なお、個別決算で計上されるこの特別損失は連結決算では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 今後の見通し

上記ののれん等の減損損失（連結決算）及び特別損失（個別決算）は、本日公表した「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」における平成 28 年 3 月期通期の連結業績予想及び個別業績予想に織込んでおります。こちらも併せてご参照ください。

以 上